



「ほら、田んぼに何かいる！」探究心旺盛な子供たち

大学のプロジェクトの一環でビオトープエリアに田んぼをつくり、5歳児が田植えをして稲の成長を観察しています。暑い中すくすくと育っています。

稲を育てる作業に「中干（なかぼし）」があります。^{しゅっすい}出穂前に田の水を干し上げることによって、土の中の有害なガスを抜き、酸素を送ることができます。そして、乾いた土の中では水を求めて根がしっかりと張ります。稲を育てるための大事な作業です。

強くたくましく育てるために、力をつけた頃合いを見てあえて厳しい環境におく。子育てもしかり。

風の子便り

KAZENOKO DAYORI



滋賀大学教育学部附属幼稚園

「うたう」っていいなー♪

もし世界から「うた」がなくなったら…。私は想像もできないぐらいに悲しくてやりきれない気分になると思います。きっと、世界中のみんながそうなるのではないかと思います。

楽しく愉快地に過ごすことも、悲しみを乗り越えることも、仲間と力を合わせることも困難になるんじゃないだろうか。私はそう思います。

「うたうこと」「つくること」「おどること」「かくこと」といった表現活動は、豊かな感性を育み、活力や創造性につながるものだと強く思うのです。



音楽会の参観ありがとうございました。

子供たち一人一人が自分らしさを出しながら歌ったり、リズムを合わせたりする「一体感」を心地よく感じていたように思います。園での様々な経験が子供たちの感性や創造性を豊かに育てていることを感じる学期末です。



栽培活動で三方よし 5歳児

食べること、生きることに直結する栽培活動はもっと教育に取り入れるべきだと思っています。おりしも、田んぼに稲の苗を植えた後、「**これ高いお米問題も解決するかもしれん**」とのたまう5歳児。栽培と暮らしがつながっています。

さて、今年はジャガイモが大豊作でした。先生たちも「これまでで一番の出来！」と絶賛。たくさん持ち帰り、種類によって異なる味にも驚いた様子の子供たちでした。

まだまだたくさんあるジャガイモをどうしようかと相談する中で、「子ども食堂」のを知り「美味しいジャガイモのおすそ分け」をしたいと考えた子供たち。後日、平野学区で「子ども食堂」を運営する梶村さんをお招きして、直接お渡しすることができました。

自分たちの仕事や成果が誰かの喜びにつながり自らの喜びにもなる。売り手よし、買い手よし、世間よし。まさに三方よしとなりました。





～副園長のおしゃべり～

いよいよ夏休み。子供たちと一緒にいることの楽しさを感じながら、ちょっぴりいつもとは違う日々を楽しんでいただきたいと思います。私は、祖父母の家に長ーく泊まっていた夏休みを思い出します。

とりわけ父方の田舎は奈良駅から峠を二つ越えたところにある山添いの集落でしたので、素っ裸で川で遊んだり、雑木林でクワガタムシをとったりして遊んでいました。クワガタムシと言っても山にしか生息していないミヤマクワガタしか採れず、レアなんだけれどレアでもないといった不思議な感覚でした。山奥の川なのにウナギが住んでいて、小魚に針を通した仕掛けを夕方に川の石に括り付け、早朝に捕まえて朝からウナギを焼いて食べる。仏壇にあいさつをしてお墓参りをして盆踊りに行く。そんな夏休みでした。

今となっては家主も住んでおらず、年に1.2回墓参りのついでに大掃除をするくらいになりましたが、何とか元気にたくましく生きている自分にとっての原体験が詰まっていた日々だったと思っています。

みなさん、水の事故などに十分に気をつけて、夏休みならではの日常を楽しんで過ごしてください。

季節のアルバム



3歳児の砂場遊び。暑くなってくるとやっぱり水が気持ちよくて、砂場がまるで湖のようです。砂・水・泥で存分に遊ぶと賢く育つと聞きました



ダンゴムシがおなかに抱いている「白いモノ」の正体が赤ちゃんだと知った4歳児。デジタル顕微鏡とモニターを使って博士気取りです。



楽しみにしていた小中学校プールでの水遊びを楽しんだ5歳児。体全体を水にゆだねて、浮くことができるのもプールならではです。



3歳児の水遊び。シャワーの下でビニールの傘をもって水の音を楽しむ子供たち。水がかからないからへっちゃら。実はどの学年でも人気。



砂場での水路づくり。4歳児らしからぬ知識と経験が詰め込まれています。実は左上の遊びが出发点。ずっと試行錯誤を続けているのです



いよいよ音楽会が近づいて練習にも熱が入る5歳児。みんなで一つのことをするって、とてもドキドキすることだけれど、とてもうれしいこと。

ちょっぴりおしゃれな下駄を買ってしまった。衝動買い。履き始めこそ鼻緒が痛かったけれど、ずいぶんなじんできてカラコロ言わせながら歩くのが楽しい。去年の夏にいい室内プールを見つけた。夏季は温水にする費用が掛からないため安くなっている。1時間ほど泳ぐとすっきりとした気分だ。教えない…

そういえば娘がまだ幼いころ、近所の子供たちを引き連れて市民プールまで歩いて行ったこともあったな～と思い出す。

♪～夏が来れば思い出す～♪ことはきっと皆さんにもあると思うのです。そして、この夏はぜひ子供たちと一緒にそんな思い出を体験してください。

皆さん、どんな夏を過ごされますか？ 子供のころはどんな夏休みでしたか？ 宿題は、早く済ませるタイプ?? さあ！夏休みです。たのしいですよ！

いつもコメントありがとうございます。前期前半、ありがとうございました。